

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立特別養護老人ホーム白金の森						
指定管理者	社会福祉法人奉優会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	－
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	23	22	1	67	10	57	0	90
	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	7	8						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
延入所者数（人）	1,069	1,046				
短期入所生活介護延利用数（人）	3,497	3,631				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	560,249,263	536,933,445	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	85,851,366	81,892,046				
	利用料金収入	455,349,104	445,946,344				
	その他収入	19,048,793	9,095,055				
	支出	542,540,991	521,006,206	0	0	0	
	職員人件費	316,692,481	317,078,013				
	光熱水費	39,398,570	28,715,975				
	修繕費	5,158,916	4,046,086				
	事業運営費	116,305,643	110,319,786				
	施設管理経費	16,800,000	16,236,514				
	その他経費	48,185,381	44,609,832				
	差引収支額	17,708,272	15,927,239	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		95,527,296	83,559,321				

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	9 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					84 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、面会訪問時の衛生管理を徹底した上で、ボランティア活動をオンラインや小グループで実施しました。 職員育成の取り組みとして、定期的な研修とメンタリングを通じ、職員のスキルアップとキャリアパスを支援し、業務の質の向上にもつなげました。 離職率の低下について、職場環境改善と適切な労働条件の提供で、離職率を7%以下に抑えました。 サービスの面では、ユマニチュードベースの認知症ケアプログラムを導入し、BPSD減少と生活の質向上を実現したほか、眠りスキャンを含むICT技術で、利用者の睡眠パターンを分析・改善し、睡眠の質と日中の活動量の向上につなげました。
区（施設所管課）による評価	感染症対策を工夫し、面会やボランティア活動に際し、利用者や家族に寄り添った対応が見られました。 職員研修については、実施方法の見直し等により、職員育成の積極的な取組ができています。引き続き、介護人材確保人材及び育成のため、幅広くスキルアップの機会を設けることを期待します。 安全・危機管理では、予期せぬ事態への事前シミュレーションを行う等、入所者個々に応じた対応を継続して行うよう、区としても助言・指導してまいります。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）